

平田晋策 （以終） 軍事評論家、小説家。明治二十七年二月六日兵庫縣
生れ。昭和十一年一月二十八日没（一九四一三）。龍野中學校中退。大
正十年曉民共産黨事件に連坐。のち軍事評論家に轉じ、關聯小説、兒
童讀物を多作。輪禍に遭ひ死去。

著書 （我等） 『理想敵 勞農赤軍』（昭和六年十一月十五日生進社）、『赤露今

日の展望』（合著・犯罪科學編輯部編、昭和七年七月二十三日武俠

社）、『戰争論』（合著・理想社・植田清次編、昭和八年五月二十五

日、普及版・十一年九月二十日理想社出版部）、『われ等若し戰はば』

（昭和八年八月二十五日大日本雄辯會講談社）、『日本の危機』一九

二三年の備へよ』（合著・岡田晴吉編、昭和九年一月一日大日本雄辯

會講談社『雄辯』新年特大號第一附録）、小説『迫れる日露大戦記』

（昭和九年一月一日新潮社『日の出』二月號附録）、『一九二三年の

爲心』（昭和九年四月一日改造社）等。

文献、會津信吾著『昭和空想科學館』（平成十年一月五日千葉・里岬。

『太平洋をみりぬく』平田晋策の生涯』収録）等。

